

資料2

資料2 施策の全体像作成のための検討資料（これまでの作業まとめ）
について

- これまでの審議に用いた資料が複数あります（市民意識調査、棚卸シート、第1回審議会の内容、タウンミーティング結果など）。資料ごとに、どの施策に対して、どのような意見・提案があったかを、表にまとめて可視化しました。
- このことにより、重要度が高い施策、及び特徴的な意見・提案が集中している施策は何かを判別するための参考資料としています。
- また、参考として、最終的に施策の全体像(案)(資料5)に計上された重点施策に関連する個別施策について、重点施策1～3に対応して各色を付しています。

■施策の全体像作成のための検討資料(これまでの作業まとめ)

宣言	基本施策	番号	個別施策名	市民意識調査(単純集計)	市民意識調査(クロス集計)	市民意識調査(H21とH28の比較)	施策棚卸シート	総合戦略重点事業	戦略策定時資料 (市民意識調査・訪問型インタビュー・インターネットアンケート等)	都市計画マスタープラン (「都市づくりの目標」の見直し事項に関連するもの)	真夏のタウンミーティング	第1回審議会
1	健康	011	健康づくりの推進	・健康であると思う市民割合72.1%		・健康であると思う市民割合低下 72.1%→68.8%(H21-28)	・分野(宣言)別達成度低 (25%)					
1	健康	012	保健サービスの充実				・分野(宣言)別達成度低 (25%)	ベビワン訪問事業				
1	健康	013	感染症対策				・分野(宣言)別達成度低 (25%)					
1	2 医療	021	地域医療の充実	・重要度高(1位)	・各地区ともに重要度高い ・高齢世代の需要度高い	・H21・H28共に重要度1位 ・H21・28共に満足度低/重要度高	・市民重要度高く達成度 50% ・分野(宣言)別達成度低 (25%)				●(総合病院)	
1	2 医療	022	救急医療の充実	・重要度高(1位)	・各地区ともに重要度高い ・高齢世代の需要度高い	・H21・H28共に重要度1位 ・H21・28共に満足度低/重要度高	・市民重要度高く達成50% ・分野(宣言)別達成度低 (25%)				●(総合病院)	
2	3行政運営	031	行政改革の推進			・H21・28共に満足度低/重要度高						
2	3行政運営	032	組織・人事管理の適正化			・H21・28共に満足度低/重要度高						
2	3行政運営	033	窓口サービスの向上	・行政の手続きはしやすいと思う割合 73.1% ・市職員の対応や接遇は良いと思う割合 75.2% ・公共施設は利用しやすいと思う割合 47.7%		・H21・28共に満足度低/重要度高						
2	3行政運営	034	消費者の保護・育成	・市が消費生活相談窓口を設置していること を知っている割合46.6%		・H21・28共に満足度低/重要度高						
2	3行政運営	035	電子自治体の推進			・H21・28共に満足度低/重要度高						
2	3行政運営	036	公共施設の整備・管理		・池野地区の満足度が低い	・H21・28共に満足度低/重要度高						
2	3行政運営	037	広域行政・自治体連携の推進			・H21・28共に満足度低/重要度高						
2	4情報共有	041	情報の公開	・市政情報がきちんと公開されていると思 う割合49.3%								
2	4情報共有	042	広報・広聴活動の充実	・広報紙を読んでいる割合86.0% ・広報紙以外で市の情報を得ている割合 30.7%		・広報紙を読んでいる割合低下89.0→ 86.0%	・わかりやすい子育て情報を 発信します ・市HPリニューアル・広 報紙の発行による情報発信 ・開局！犬山チャンネル ・シティブロモーション強 化事業	「住むまち」としての魅力 を効果的に発信することが 重要 ・「どこで情報を得たらよ いかわからない」との意 見多数。		●(若者を呼び込む)★(市 民の声を聞き出す)	・対外的な広報活動が(総計には)う たわれていない。上手く外へ伝わっ ていない ・外に向かってどう犬山を発信 していくべきかを検討すべき ・犬山のどこに特異性があり、どこ に優位性があるかを認識することが 必要 ・犬山の良さを対外的に発信する。 ！Tも活用して ・犬山市民が犬山の良さを(便利さ、 宝)を知らないのでは	
2	5財政運営	051	財政運営の適正化	・重要度高(6位)	・羽黒地区で重要度が高い ・男性の重要度が高い	・H28重要度6位(H21年4位) ・H21・28共に満足度低/重要度高	・市民重要度高いが達成 度低い(0%)				●(増税)	
2	5財政運営	052	自主財源の確保・拡充					・ガバメントクラウドファ ンディング事業 ・ふるさと納税増地域産 業活性化推進事業				

■施策の全体像作成のための検討資料(これまでの作業まとめ)

資料2

宣言	基本施策	番号	個別施策名	市民意識調査(単純集計)	市民意識調査(クロス集計)	市民意識調査(H21とH28の比較)	施策棚卸シート	総合戦略重点事業	戦略策定時資料 (市民意識調査・訪問型インタビュー・インターネットアンケート等)	都市計画マスタープラン (「都市づくりの目標」の見直し事項に関連するもの)	真夏のタウンミーティング	第1回審議会
3	6市民協働	061	市民参画と市民協働の推進	・市が実施したパブリックコメントや意見交換会に参加したことがある割合4.6%		・市が実施したパブリックコメントや意見交換会に参加したことがある割合低下6.5→4.6%(H21-28)		・自治基本条例制定		・身近な生活圏の地域コミュニティ形成	●●●(高齢者の参加)	・参加機会の乏しさ ・関心の高い問題へ参加できる仕組みづくり ・若者(高校・大学生)と高齢者を繋ぐ仕組みづくりが必要 ・NPO、ボランティア活動に興味があっても参加機会が乏しい ・市民が自ら関心の高い課題に関わり解決する仕組みづくりが必要
3	6市民協働	062	市民活動の支援	・市民活動を行っている人の割合8.7%		・地域でのつながり・支え合いを大切にしている市民割合上昇75.0%→81.0%(H21-28) ・市民活動を行っている人の割合低下10.4→8.7%(H21-28)		・市民活動支援事業(市民活動助成金など)	地域活動を運営する中で、若者の参画が少ない。将来の担い手育成が課題との意見あり ・地域活動が活発であると評価する一方、保守的で閉鎖的であるとの意見も見られた ・施設の利便性向上を求める声が多数あった	・身近な生活圏の地域コミュニティ形成	●(議員と市民の意見交換) ●●(若者の支援) ●(世代間交流) ●(楽田ふれあいセンターの他地域版)	・高校生、大学生と高齢者をつなぐ仕組みが必要 ・NPO、ボランティア活動に興味があっても参加機会が乏しい
3	6市民協働	063	コミュニティ活動の支援	・地域での活動に日頃から参加している割合58.2%		・地域での活動に日頃から参加している割合低下60.0→58.2%(H21-28)		・“総力”協議会パイロットプロジェクト	市民同士のふれあいや市民と地域の繋がりなど、人の優しさを実感できるまちであると評価する声も多い。	・身近な生活圏の地域コミュニティ形成	●●★(町内単位の活性化) ●●(集まりへの参加呼びかけ)	・中山間部の居住促進と交流の場づくり ・住民のアイデアによる地域活性化が重要
3	7市民交流	071	都市間交流の推進									
3	7市民交流	072	国際交流推進体制の充実									
3	7市民交流	073	国際交流活動の推進	・外国人と接する機会のある人の割合9.0%								
3	8平和共生	081	平和活動の推進									
3	8平和共生	082	男女共同参画の推進	・男女の性別に関係なく平等な生活を送っている割合67.6%								
3	8平和共生	083	多文化共生の推進									・社会福祉の観点から多様性が重要 ・多様性のあるまち、そうしたまちになると良い
4	9農業	091	農業生産基盤の保全			・H28満足度低い施策10位(前回26位)			耕作放棄率は農地全体の14.3%、県平均(11.7%)より高い。		★(食のブランド化)	・維持の問題 ・鳥獣被害対策 ・農業従事者の多くは高齢者。遊休地化が進み対策が必要
4	9農業	092	農業経営の確立			・H28満足度低い施策9位(前回26位)		・特産品・工業製品を通じた市外への犬山PR作戦	耕作放棄率は農地全体の14.3%、県平均(11.7%)より高い。		★(食のブランド化) ●(木曾川の鰻養殖)	・維持の問題 ・鳥獣被害対策 ・農業従事者の多くは高齢者。遊休地化が進み対策が必要
4	9農業	093	農地の活用			・H28満足度低い施策7位(前回26位)		・6次産業化支援事業	耕作放棄率は農地全体の14.3%、県平均(11.7%)より高い。	・既存ストックの活用	★(食のブランド化) ●(休耕田の活用) ●(牧場・農場体験)	・担い手の高齢化による遊休化が問題 ・維持の問題 ・鳥獣被害対策 ・農業従事者の多くは高齢者。遊休地化が進み対策が必要
4	9農業	094	地産地消の推進	・買い物などで市内にあると便利と思う施設は?2位「地産地消が叶う犬山の特徴を活かした施設」(全7項目中)		・H28満足度低い施策9位(前回26位)		・シルバーと若者が農業に挑戦!事業	・子育て世代の母親からは「地元の野菜がいつでも購入可能な施設」「道の駅」のニーズが多く見られた		★(食のブランド化)	

■施策の全体像作成のための検討資料(これまでの作業まとめ)

資料2

宣言	基本施策	番号	個別施策名	市民意識調査(単純集計)	市民意識調査(クロス集計)	市民意識調査(H21とH28の比較)	施策棚卸シート	総合戦略重点事業	戦略策定時資料 (市民意識調査・訪問型インタビュー・インターネットアンケート等)	都市計画マスタープラン (「都市づくりの目標」の見直し事項に関連するもの)	真夏のタウンミーティング	第1回審議会
4	10商業	101	魅力ある商業地の整備	・重要度高(6位) ・市内の商店(店舗)で買い物をする割合66.0% ・市内の商店に魅力を感じる人の割合28.1% ・満足度が特に低い ・買い物などで市内にあると便利と思う施設は?1位「医療・福祉・レクリエーション、商業が集積した施設」2位「地産地消が叶う犬山の特徴を活かした施設」(全7項目中)	・各地区ともに重要度高い ・各地区ともに満足度低い、城東、羽黒地区で満足度が特に低い ・18-59歳の満足度が低く重要度が高い。特に18-39歳が突出している ・男性の重要度が高い	・H28重要度7位(H21年16位) ・H28満足度が低い施策1位(前回2位) ・市内の商店で買い物をする割合上昇58.0→66.0%(H21-28) ・市内の店舗に魅力を感じる人の割合上昇21.5%→28.1%(H21-28) ・犬山駅周辺には活気があると思う人の割合上昇8.4%→14.9%(H21-28)	・市民満足度低い達成度100%	・新たな商業施設を呼び込みます	・商店数は減少しており、年間販売額も大きく減少。 ・市内で買い物をする人の割合も激減しており、買い物や飲食ができる商業施設の充実を望む声や農作物の直売所など地産地消を求める声も大きい。 ・名物で誇れるものがないとの意見あり	・市民全体を利用対象とする都市機能拠点の配置	★★●●●●(買物難民対策) ●★(食のブランド化)● (買物・飲食)●●●●(地域に根付いた商業)●●(道の駅)●●(夜市)●●(お酒を飲む店)	・ネットショップも普及する中、何が必要か要検討 ・市民交流拠点・地域生活拠点の考え方は重要
4	10商業	102	中小事業者の育成			・H28満足度が低い施策4位(H21年25位)					★(食のブランド化)●(移動販売)	
4	11工業	111	中小企業の振興		・40-59歳の満足度が低い	・H28満足度が低い施策4位(H21年25位)		・企業支援ワンストップ型プラットフォーム運営事業 ・小規模企業設備投資支援事業 ・商工会議所主催の起業セミナー開催の支援 ・特産品・工業製品を通じた市外への犬山PR作戦			★(食のブランド化)	
4	11工業	112	工業用地の確保と企業誘致						本市に就業構造は製造業であり、雇用の受け皿として、市の産業を支え中心として工業の影響が大きい。		●(城東地区)●	商工業誘致の時代ではなく、住民のアイデアの出し合いによる地域活性化を
4	12観光	121	観光資源の整備・充実	・犬山を訪れる人を増やす為の取組みは?1位「主要な観光施設を巡れるようにする」2位「歴史・自然など犬山の特徴を活かした施設の充実」(全9項目中)				・水辺を活かしたまちづくりプロジェクト	・H26に犬山城登閣者数が50万人に達するも、観光の恩恵が市域全体に行き渡らないのが課題 ・犬山は知的なテーマパークが多くて良いという意見あり ・犬山来訪の目的1位「名所旧跡等観光スポット訪問62.5%」(netアンケート)	・車に頼らない観光・レクリエーションの交流ネットワークの形成 ・市民の諸活動の促進、新たな観光交流拠点の形成	★(脱犬山城)●●(農業への関心)●●★(食のブランド化)●●(ブランドの発掘)●●(シェアハウス・民泊)●●(夜市)●●(生き物がいっぱい)●●(犬山城と観光施設間の交流)	・外部から人を呼び込む交流が重要
4	12観光	122	観光宣伝・情報発信の充実と誘客対策				・シティプロモーション強化事業		・観光地としてのブランド力を市全体で高めることが必要であり、宿泊者数像やインバウンド需要に繋げることが重要 ・犬山のイメージ1位「観光のまち73.1%」(netアンケート)	・車に頼らない観光・レクリエーションの交流ネットワークの形成 ・市民の諸活動の促進、新たな観光交流拠点の形成	★(脱犬山城)●●(農業への関心)●●★(食のブランド化)★(魅力発信)	・外部から人を呼び込む交流が重要 ・定住につながる交流が重要 ・対外的な情報発信が不足 ・犬山の持つ資源、強みの把握が必要
4	12観光	123	観光推進体制の充実				・観光戦略会議の開催 ・観光×○○事業		・宿泊客が少なく、日帰り観光が多いとの意見あり。木曾川沿いの旅館街が活気内との指摘あり	・車に頼らない観光・レクリエーションの交流ネットワークの形成 ・市民の諸活動の促進、新たな観光交流拠点の形成	★(脱犬山城)●●(農業への関心)●●★(食のブランド化)	・外部から人を呼び込む交流が重要 ・定住につながる交流が重要
4	13勤労	131	雇用環境の向上	・勤務先は労働環境が整っていると思う割合63.2% ・勤務先は共済制度が充実していると思う割合57.4%	・40-59歳の満足度低い	・満足度低い施策5位(前回7位)		・奨学金補助で犬山就労定住促進!事業	学生から「アルバイトする場所がない」「就職は市外。働きたい仕事がない」という意見が見られた。 ・移住する際にあつたら良い支援制度1位「就労支援39.7%(netアンケート)」			・学生が卒業後に地元に残らないのが問題である。 ・犬山の企業が若者の活躍できるまち、活躍できる場の魅力を提示すべきである
4	13勤労	132	勤労者福祉の充実									
5	14地域福祉	141	福祉の心の醸成						・分野(宣言)別達成度高(54%)			
5	14地域福祉	142	地域福祉推進体制の充実			・H28重要度10位(H21年22位) ・H21・28共に満足度低/重要度高			・分野(宣言)別達成度高(54%)			
5	14地域福祉	143	地域福祉施設の整備			・H28重要度10位(H21年22位) ・H21・28共に満足度低/重要度高			・分野(宣言)別達成度高(54%)			

■施策の全体像作成のための検討資料(これまでの作業まとめ)

資料2

宣言	基本施策	番号	個別施策名	市民意識調査(単純集計)	市民意識調査(クロス集計)	市民意識調査(H21とH28の比較)	施策棚卸シート	総合戦略重点事業	戦略策定時資料 (市民意識調査・訪問型インタビュー・インターネットアンケート等)	都市計画マスタープラン (「都市づくりの目標」の見直し事項に関連するもの)	真夏のタウンミーティング	第1回審議会
5	15高齢者福祉	151	高齢者の生きがいづくりと社会参加			・H28年重要度9位(H21年3位) ・H21・28共に満足度低/重要度高	・分野(宣言)別達成度高(54%)	・地域の集いの場開設支援事業	・65歳以上の老年人口は27.3%であり今後更に高齢化が進行する中で高齢者の活力をいかす地域づくりが求められている。 ・高齢者インタビューにて、高齢者の活躍の機会、多世代交流を求める声が多く見られた		●★●	・若者(高校・大学生)と高齢者を繋ぐ仕組みづくりが必要 ・地域の高齢者が子育て世代を気軽に助けられる環境づくりを
5	15高齢者福祉	152	高齢者福祉サービスの充実			・H28年重要度9位(H21年3位) ・H21・28共に満足度低/重要度高	・分野(宣言)別達成度高(54%)				●★●	
5	15高齢者福祉	153	地域包括ケア体制の確立			・H21・28共に満足度低/重要度高	・分野(宣言)別達成度高(54%)				●★●	
5	15高齢者福祉	154	介護保険サービスの提供				・分野(宣言)別達成度高(54%)				●★●	
5	16子育て支援	161	地域における子育て支援	・重要度高(第2位)	・各地区ともに重要度高い ・若い世代の重要度高い	・H28重要度2位(H21年8位) ・H21・28共に満足度低/重要度高	・分野(宣言)別達成度高(54%)	・わかりやすい子育て情報の発信にチャレンジ! ・子育て世代包括支援センターの整備 ・子育て・自分育ちプロジェクト	・中3まで医療費助成の拡大を求める声が多かった(H28年4月～実施) ・犬山へ移住する際にあったら良いと思う支援制度2位「医療費助成37.2%(netアンケート)」		●★(児童センター日曜開庁)	・高齢者による子育て世代のサポート ・子育てのしやすさが重要 ・子育て世代の医療費無料化 ・児童センターの老朽化
5	16子育て支援	162	保育サービスの充実	・重要度高(第2位)	・各地区ともに重要度高い ・若い世代の重要度高い	・H28重要度2位(H21年8位) ・H21・28共に満足度低/重要度高	・分野(宣言)別達成度高(54%)	・0歳児のマイ保育園事業	・中3まで医療費助成の拡大を求める声が多かった(H28年4月～実施) ・犬山へ移住する際にあったら良いと思う支援制度2位「医療費助成37.2%(netアンケート)」		●	・保育料の無料化
5	16子育て支援	163	子どもを育む環境整備	・少子化対策として有効な施策は?1位「経済的負担の軽減」2位「子育てサービス(一時預かりなど)の充実」(全5項目) ・重要度高(2位)	・各地区ともに重要度高い ・若い世代の重要度高い	・H28重要度2位(H21年8位)	・分野(宣言)別達成度高(54%)	・子ども医療費助成の拡充 ・わかりやすい子育て情報を発信します ・中学生の子育て体験事業の強化	・中3まで医療費助成の拡大を求める声が多かった(H28年4月～実施) ・犬山へ移住する際にあったら良いと思う支援制度2位「医療費助成37.2%(netアンケート)」		●●(婚活支援) ●(働く環境)	・高齢者による子育て世代のサポート ・若い女性自身が犬山で結婚して、暮らして、というイメージができる ・今回の総計では子育てのしやすさを考えることが重要 ・子育て世代の医療費無料化、休業補償といった大胆な施策も ・児童センターの老朽化対策
5	17障害者(児)福祉	171	障害者の自立と社会参加の推進			・H21・28共に満足度低/重要度高	・分野(宣言)別達成度高(54%)					
5	17障害者(児)福祉	172	障害者福祉サービスの充実			・H21・28共に満足度低/重要度高	・分野(宣言)別達成度高(54%)					
5	18社会保障	181	低所得者への支援			・H21・28共に満足度低/重要度高	・分野(宣言)別達成度高(54%)					
5	18社会保障	182	国民健康保険の運営			・H21・28共に満足度低/重要度高	・分野(宣言)別達成度高(54%)					
5	18社会保障	183	国民年金の運営			・H21・28共に満足度低/重要度高	・分野(宣言)別達成度高(54%)					
5	18社会保障	184	福祉医療の充実			・H21・28共に満足度低/重要度高	・分野(宣言)別達成度高(54%)	・子ども医療費助成の拡充	・中3まで医療費助成の拡大を求める声が多かった(H28年4月～実施) ・犬山へ移住する際にあったら良いと思う支援制度2位「医療費助成37.2%(netアンケート)」			・子育て世代の医療費無料化
6	19治山・治水	191	河川・ため池の保全・管理				・分野(宣言)別達成度高(68%)					
6	19治山・治水	192	雨水排水対策				・分野(宣言)別達成度高(68%)					

■施策の全体像作成のための検討資料(これまでの作業まとめ)

資料2

宣言	基本施策	番号	個別施策名	市民意識調査(単純集計)	市民意識調査(クロス集計)	市民意識調査(H21とH28の比較)	施策棚卸シート	総合戦略重点事業	戦略策定時資料 (市民意識調査・訪問型インタビュー・インターネットアンケート等)	都市計画マスタープラン (「都市づくりの目標」の見直し事項に関連するもの)	真夏のタウンミーティング	第1回審議会
6	19治山・治水	193	治山対策				・分野(宣言)別達成度高(68%)					・山林の維持の問題
6	19治山・治水	194	土石流・急傾斜地対策				・分野(宣言)別達成度高(68%)					
6	20防犯・交通安全	201	交通安全意識の高揚		・池野地区の満足度が低い ・40~59歳の満足度が特に満足度が低く重要度が高い	・H21・28共に満足度低/重要度高	・分野(宣言)別達成度高(68%)					
6	20防犯・交通安全	202	交通環境の整備		・40~59歳の満足度が低い	・H21・28共に満足度低/重要度高	・分野(宣言)別達成度高(68%)					
6	20防犯・交通安全	203	防犯体制・環境の整備			・H21・28共に満足度低/重要度高 ・犬山は安全安心を実感し心豊かに暮らせるまちと思う割合上昇57.2%→75.9%(H21-28)	・分野(宣言)別達成度高(68%) ・市民重要度高く達成度高(100%)					
6	21防災	211	災害に強いまちづくり	・家庭での防災グッズ(非常持ち出し品)備えている割合42.5% ・重要度高(4位)	・池野地区の満足度が低い ・女性の重要度が高い	・家庭で防災グッズ(非常持ち出し品)を備えている割合21.5%→42.5%(H21-28) ・犬山は安全安心を実感し心豊かに暮らせるまちと思う割合上昇57.2%→75.9%(H21-28) ・H28重要度4位(H21年9位) ・H21・28共に満足度低/重要度高	・分野(宣言)別達成度高(68%) ・市民重要度高く達成度高(100%)	・災害に備えた市民への啓発機会や防災活動を求める声が多く聞かれる。		●(弱者対策) ●(救急車が入れる道路整備)★★		
6	21防災	212	防災体制の充実	・重要度高(4位)	・池野地区の満足度が低い ・女性の重要度が高い		・分野(宣言)別達成度高(68%) ・市民重要度高く達成度高(100%)			●(弱者対策)★★		
6	21防災	213	防災意識の高揚と防災組織の育成強化	・重要度高(4位)	・池野地区の満足度が低い ・女性の重要度が高い		・分野(宣言)別達成度高(68%) ・市民重要度高(達成度50%)			●(弱者対策)★★		
6	22消防・救急	221	消防体制の整備・充実		・池野地区の満足度が低い ・女性の重要度が高い		・分野(宣言)別達成度高(68%) ・市民重要度高いが達成度低い(0%)			●(弱者対策)★★		
6	22消防・救急	222	予防対策の充実				・分野(宣言)別達成度高(68%)					
6	22消防・救急	223	救急・救助体制の充実				・分野(宣言)別達成度高(68%) ・市民重要度高いが達成度低い(0%)			●(ドクターヘリポート)		
7	23自然環境	231	自然環境の保全と活用						誇れるものとして「豊かな自然環境」とする声多数。一方、自然を活かした施設は少ないという指摘も多くあった。 ・犬山に住んでみたい理由1位「自然環境が良い48.3%(netアンケート)	●●●●(自然公園)●	・農地、山林の維持の問題	
7	23自然環境	232	里山文化の育成							●●●●(里山のウォーキング道)●	・農地、山林の維持の問題 ・都市と里山の近さをどう活かすか ・里山地域に外部から移住できるようになるといい	
7	24公園緑地・緑化	241	公園の整備・管理		・池野地区の満足度が低い	・H21・28共に満足度低/重要度高				●●(自然公園)●●		
7	24公園緑地・緑化	242	水と緑のネットワークの形成							●(遊歩道整備) ●●(里山のウォーキング道)●	・自転車の活用が有効	
7	24公園緑地・緑化	243	緑の創造と緑化の推進			・H21・28共に満足度低/重要度高				●●		
7	25環境衛生	251	環境の保全と美化	・犬山市の自然環境は大切に保全されていると思う割合69.4%							・農地、山林の維持の問題	

■施策の全体像作成のための検討資料(これまでの作業まとめ)

資料2

宣言	基本施策	番号	個別施策名	市民意識調査(単純集計)	市民意識調査(クロス集計)	市民意識調査(H21とH28の比較)	施策棚卸シート	総合戦略重点事業	戦略策定時資料 (市民意識調査・訪問型インタビュー・インターネットアンケート等)	都市計画マスタープラン (「都市づくりの目標」の見直し事項に関連するもの)	真夏のタウンミーティング	第1回審議会
7	25環境衛生	252	地球環境保全の対策									・農地、山林の維持の問題
7	25環境衛生	253	公害対策の推進									
7	25環境衛生	254	し尿・生活排水の適正処理									
7	26循環型社会	261	ごみの適正処理									
7	26循環型社会	262	ごみの減量化とリサイクル									
8	27市街地・景観	271	駅周辺地区の整備	・市内の駅周辺は活気があると思う割合14.9% ・満足度が特に低い ・重要度高(3位)	・各地区ともに重要度高い ・各世代とも重要度高い ・各地区ともに満足度が低い ・18-59歳の満足度が特に低く重要度が高い。特に18-39歳が突出している ・犬山地区で重要度が高い	・H28年重要度3位(H21年11位) ・H28満足度低い施策3位(前回6位) ・H28満足度低/重要度高 ・犬山駅周辺には活気があると思う人の割合上昇8.4%→14.9%(H21-28)	・市民満足度低い達成度100%		・都市構造のコンハグト化 ・既存ストックの活用 ・城下町の歴史を活かしながら住民が暮らし続けられるまちづくり ・市民の諸活動の促進、新たな観光交流拠点の形成			
8	27市街地・景観	272	市街地の整備	・満足度が特に低い ・重要度高(3位)	・各地区ともに重要度高い ・各世代とも重要度高い ・各地区ともに満足度が低い ・18-59歳の満足度が特に満足度が低く重要度が高い	・H28年重要度3位(H21年11位) ・H28満足度低い施策3位(前回6位) ・H28満足度低/重要度高	・市民満足度低い達成度100%	・地区計画道路の整備 ・市街化区域内の低・未利用地の整備	・都市構造のコンハグト化 ・身近な生活圏の拠点形成 ・既存ストックの活用 ・城下町の歴史を活かしながら住民が暮らし続けられるまちづくり ・市民の諸活動の促進、新たな観光交流拠点の形成	★●(地域間格差の是正)● (隣町との境界付近の地域整備)		
8	27市街地・景観	273	地域特性を活かした景観づくり							・城下町の歴史を活かしながら住民が暮らし続けられるまちづくり	●(柳並木による明るい街並み)	
8	28道路・橋りょう	281	幹線道路の整備		・楽田、池野地区の満足度が低い ・楽田地区の重要度が高い	・H28満足度低い施策6位(前回5位) ・H21・28共に満足度低/重要度高		・重要な幹線道路の整備		・既存ストックの活用	●●(渋滞対策)●(富士城田線の廃止も含めた計画見直し)●	・移動手段としてもっと自転車の活用を検討しても良い
8	28道路・橋りょう	282	生活道路の整備	・市内の道路は徒歩や自転車で安全に通行できると思う割合24.7%	・楽田、池野地区の満足度が低い ・楽田地区の重要度が高い	・H28満足度低い施策6位(前回5位) ・H21・28共に満足度低/重要度高		・道路等維持修繕改修	歩行者が安全に利用できる道路環境の整備などを求める声が多い。	・既存ストックの活用	●●●(救急車が入れる道路整備)●●●(通学路)	・高齢者、子育て世代に優しい道作りを。 ・移動手段としてもっと自転車の活用を検討しても良い
8	28道路・橋りょう	283	安全な道づくり		・楽田、池野地区の満足度が低い ・楽田地区の重要度が高い					・既存ストックの活用	●●●●●(横断歩道)●(通学路)	・高齢者、子育て世代に優しい道作りを。 ・移動手段としてもっと自転車の活用を検討しても良い
8	28道路・橋りょう	284	橋りょうの整備		・楽田、池野地区の満足度が低い ・楽田地区の重要度が高い					・既存ストックの活用		
8	29公共交通	291	鉄道の利便性の向上		・池野地区の満足度が低い	・H21・28共に満足度低/重要度高				・既存ストックの活用	★(交通手段の充実)●●●	
8	29公共交通	292	バスの利便性の向上	・満足度が特に低い ・重要度高(5位)	・各地区ともに満足度が低い ・40-59歳の満足度が特に低く重要度が高い ・高齢世代の重要度が高い ・城東地区で重要度が高い ・女性の重要度が高い	・H28重要度5位(H21年6位) ・H28満足度低い施策2位(前回3位)	・市民満足度低い達成度100%	・コミュニティバス運行事業		・既存ストックの活用	★(交通手段の充実)●●● (コミュニティバスの日曜運行)●●●(停留所増加)●●	

■施策の全体像作成のための検討資料(これまでの作業まとめ)

資料2

宣言	基本施策	番号	個別施策名	市民意識調査(単純集計)	市民意識調査(クロス集計)	市民意識調査(H21とH28の比較)	施策棚卸シート	総合戦略重点事業	戦略策定時資料 (市民意識調査・訪問型インタビュー・インターネットアンケート等)	都市計画マスタープラン (「都市づくりの目標」の見直し事項に関連するもの)	真夏のタウンミーティング	第1回審議会
8	30住宅・宅地	301	住宅・宅地の供給					・ふるさと定住促進サポート事業 ・空き家活用事業	・近年、城東地区、池野地区は大型団地などにより人口が増加してきた経緯がある ・犬山に住んでみたいと思う市外在住者25.8%(net7アンケート) ・犬山へ移住する時に希望する住宅の形態1位「戸建(持家)59.9%(net7アンケート)」 ・犬山へ移住する際に合ったら良いと思う支援制度3位「家賃等補助33.9%(net7アンケート)」	・既存ストックの活用	★●(市営住宅の改善)	・規制が多く住む場所がないのが課題 ・農地の地下など、発送を変え、多様な居住形態の可能性を検討しては ・里山に外部から人が移住できると良い ・今井小などに子どもを通わせたい親がいるが実現できない
8	30住宅・宅地	302	良好な住環境の形成					・里山・田園住宅活性化事業		・既存ストックの活用	●(ニュータウンのゴーストタウン化対策) ●(空き家活用) ●(地域のサロン) ●●(若者の定住) ●(空き家バンク)	・まちでありながら里山や農地が多いという特性を活かしどう維持していくかが課題。立地条件は恵まれている
8	31上水道	311	水道施設の整備と維持管理									
8	31上水道	312	安全でおいしい水の供給	・市民満足度が突出して高い	・各地区とも満足度が突出して高い							
8	31上水道	313	効率的な事業運営									
8	32下水道	321	公共下水道の整備								●	
8	32下水道	322	公共下水道施設及び農業集落排水施設の適切な維持管理								●	
8	32下水道	323	下水道事業の健全経営								●	
9	33学校教育	331	幼児教育の充実									
9	33学校教育	332	義務教育の充実		・池野地区の重要度が他地区に比して高い			・教育委員会基本条例制定 ・教育に関する大綱の制定				・学校選択制による中山間部の活性化
9	33学校教育	333	教育施設の整備・充実					・小中学校営繕				
9	34社会教育	341	生涯学習機会の充実									
9	34社会教育	342	生涯学習活動の支援									
9	34社会教育	343	生涯学習活動の活性化									
9	34社会教育	344	青少年の健全育成									
9	34社会教育	345	図書館の充実	・図書館は利用しやすいと思う割合54.8%								
9	35スポーツ	351	スポーツの振興									
9	35スポーツ	352	スポーツ指導者の育成									
9	35スポーツ	353	スポーツ施設の整備・充実								●(スケボー) ●(プール) ●(プール)	

■施策の全体像作成のための検討資料(これまでの作業まとめ)

資料2

宣言	基本施策	番号	個別施策名	市民意識調査(単純集計)	市民意識調査(クロス集計)	市民意識調査(H21とH28の比較)	施策棚卸シート	総合戦略重点事業	戦略策定時資料 (市民意識調査・訪問型インタビュー・インターネットアンケート等)	都市計画マスタープラン (「都市づくりの目標」の見直し事項に関連するもの)	真夏のタウンミーティング	第1回審議会
10	36歴史・文化財	361	歴史・文化財の理解と意識の高揚	・地域の宝(文化財)だと思う1位「犬山城」、2位「犬山祭など地域の伝統的祭り」		・犬山のまちに愛着を感じている割合上昇78.0%→82.5%(H21-H28)		・分野(宣言)別達成度低(33%)	・犬山祭を始めとした各所の祭りに対する愛着や誇りに思う意見が非常に多く見られた ・各種意向調査結果から「城」「伝統文化」「地域の祭り」「城下町」へに対する市民の思いは強い ・犬山来訪の目的1位「名所旧跡等観光スポット訪問64.5%(net7アンケート)」 ・犬山に住んでみたい理由2位「歴史・文化資源が豊富31.5%(net7アンケート)」		●(犬山祭) ●(歴史教育)	・歴史、文化財の有効活用
10	36歴史・文化財	362	歴史・文化財の保存・活用	・地域の宝(文化財)だと思う1位「犬山城」、2位「犬山祭など地域の伝統的祭り」				・分野(宣言)別達成度低(33%)	・各種意向調査結果から「城」「伝統文化」「地域の祭り」「城下町」へに対する市民の思いは強い ・犬山来訪の目的1位「名所旧跡等観光スポット訪問64.5%(net7アンケート)」 ・犬山に住んでみたい理由2位「歴史・文化資源が豊富31.5%(net7アンケート)」		●(歴史教育)	・歴史、文化財の有効活用
10	36歴史・文化財	363	歴史・文化のネットワークづくり					・分野(宣言)別達成度低(33%)			●(歴史教育)	・歴史、文化財の有効活用
10	36歴史・文化財	364	城下町地区の整備					・分野(宣言)別達成度低(33%)		・城下町の歴史を活かしながら住民が暮らし続けられるまちづくり	●(歴史教育)	・城下町の暮らしの魅力をPR ・守りたい、住みたいと思える町家居住 ・子育て世代へのPR ・転入しやすい環境 ・歴史、文化財の有効活用
10	37文化	371	文化活動の振興					・分野(宣言)別達成度低(33%)				
10	37文化	372	新しい文化の創造と活動の支援					・分野(宣言)別達成度低(33%)				